

友好締結のあゆみ

本市にはサントス市(ブラジル)、イスタンブール市(トルコ)、釜山広域市(韓国)、青島市(中国)、ピッツバーグ市(米国)の5つの姉妹・友好都市があります。

中国とは、青島市との友好都市の盟約を結ぶ以前から、全国に先駆け官民一体で、友好促進に取り組んでいました。そのような折、廖承志中日友好協会会長(当時)を团长とする「中日友好の船」明華号が本市に寄港し、廖会長が青島市との友好結縁を提案したことを受け、昭和54年10月3日に友好都市の盟約締結に至りました。



〈写真①②〉青島市へ訪問した本市小学生(平成30年10月)
 〈写真③〉青少年文化芸術団(馬関まつり/平成30年8月)

これまでの交流

両市の間ではこれまで経済・教育・文化・スポーツ・青少年交流など幅広い分野で交流をしてきました。本市では、平成2(1990)年から小・中学生を訪問団として派遣し、これまで27回、250人の青少年が青島市で現地の学校訪問など貴重な体験をしてきました。

青島市からも青少年文化芸術団が馬関まつりのステージにて青島の伝統的な舞踊(ヤンコ踊り)を披

昭和54(1979)年10月3日、友好都市盟約締結

下関市・青島市 友好都市締結 40周年

関国際課 ☎231-9653



▲下関市観光物産展(青島国際ビール祭り会場内)



▲前田市長、孟凡利青島市長

露するなどさまざまな交流が続いています。

40周年の取り組み

友好都市締結40周年を記念し、前田市長が就任後初めて青島市を訪問しました。7月26日に開催された青島市のビックイイベント「青島国際ビール祭り」の開幕式に出席、孟凡利青島市長と舞台上で乾杯して、40周年を祝いました。会場内では下関市観光物産展を行い、多くの人でにぎわいました。翌日には、青島画院美術館で交流の歴史を紹介したパネル展や両市の青少年による絵画展、芸術関係者による作品展が行われました。

10月26日には、本市において青島市からの訪問団を迎え、記念式典を行います。

仕 事の関係で昔から下関とゆかりがあります。国際交流員として下関に赴任して4カ月余りが経ちましたが、この美しい海浜都市への理解が一層深まり、すっかり好きになりました。海産物はもちろん、おいしいお酒やお菓子もたくさんあって素晴らしいですね。また市民間の文化活動や国際交流イベント、スポーツ行事や祭りも盛りだくさんで、下関は活気の溢れる

まちだと強く実感しています。

今年は両市友好都市締結40周年です。これまで両市の友好事業に貢献された関係者の皆さんに感謝するとともに、より多くの方が記念行事に参加して、両市の友情の輪がさらに拡大していくことを心から願っています。

私も下関と青島、そして日本と中国との交流が一層活発になるよう、そのお手伝いのできたらと思っています。

Voice

国際交流員
王 蓬 さん

